

CASE STUDY

×
金星出版社

금성출판사



金星出版社、 内部資産のデジタル化への基盤を構築

導入製品

デジタル資産管理システム

「IDAS」
(I-ON Digital Asset
Management)

企業情報

会社名：金星出版社

設立：1965年10月19日

本社：韓国ソウル市麻浦区孔徳洞242-63

事業内容：出版

紹介：教科書、辞書、学習誌、

子供向けの書籍を含む書籍類から

「ブルネット」教育サービス事業など、

多方面で教育出版文化を導く専門企業

(写真)金星出版社 デジタルハブチーム キム・ミンヨン氏

今や企業の内部で保有しているコンテンツ数は膨大になっているが、資料を整理するシステムがアナログに留まっていることから新しい価値を発見し難い状況である。結局、誰がデジタル資産を体系的かつ効果的に管理するかが大事で、企業はデジタル資産管理システムを導入することでその価値を創出している。

教育サービス専門企業である金星出版社も、企業内に保有している膨大なコンテンツの整理とともに、その価値を極大化する方法について多方面で悩んでいた。その結果、同種の業界において構築実績のある、優れた品質と技術力を持っているアイオンコミュニケーションズのデジタル資産管理システム「IDAS(I-ON Digital Asset Management System)」を導入することを決めた。

“金星出版社、内部資産のデジタル化への基盤を構築”とのプロジェクト名で2ヶ月(2015年4月～5月)で成功的に完了し、少しずつ効果が出てきているという。

今回の事例では、金星出版社のデジタルハブチームのキム・ミンヨン担当者を通じて、金星出版社でプロジェクトを進めた背景や目標、ソリューションの導入理由、導入後の効果、今後の計画の4つの部門について詳しく伺うことができた。

■ プロジェクトの背景・目標

2015年は金星出版社が50周年を迎えた年であり、長い間、教科書、参考書、学習誌など様々な図書を出版してくる中で活用した資産は膨大なものになっている。小さくはアイコンからして大きくは図書の完成本に至るまで、珍しくて大切な資産を数多く保有していた。

ある日、教材別、科目別、教科過程別で綺麗に整っている資産を、どうすれば今より有効に活用できるかを悩んでいた。ただ綺麗に整っているだけでなく、その価値を極大化する方法を模索する中で、アイオンのデジタル資産管理システム「IDAS(I-ON Digital Asset Management System)」をわかるようになり、導入を前向きに検討しはじめた。

■ IDASを導入した理由

「実力のある業者も多かったがアイオンのIDASを導入した究極的な理由は、まず同種の業界において経験があったことです。また、製品も優れていて、機能面でも自社と同じようなところが多かったです。

その他も内部の要望について肯定的に受け入れられ、プロジェクトの進行中だけでなく、終了してからも引き続きご関心いただいたところからより一層満足できました。」

■ IDAS導入の効果

「プロジェクトが完了したばかりで本社にも公開していない状態のため、まだ変化や効果が現れてはいないと思います。

しかし、まだ早いとは思いますがIDASの導入による効果を感じた部分があります。そこは登録される資産を一目で把握できるようになったことと、テーマ別、教材別に使い分けることにより体系的で効率的になって、必要な資料を探しやすくなったことです。

これにより、これから全社的に活用すると、業務の遂行時にさらに効果があると思い、すぐに満足できた製品なため、関連チームを含めて全社的にも活用度が高くなると思います。」

■ 今後の計画

チーム別に整っている資産を、今後教科書や教材の開発に活用したいと思います。これからも使用上に不便が発生したり、追加機能が必要になった場合、手続きを通じてアイオンの担当者までお願いする予定です。

最後に今回のプロジェクトにおいて、自社の様々な内部の要望事項を製品に適用できるように積極的なガイドや開発対応をいただき、アイオンに感謝しています。今後とも金星出版社にたくさんのご関心をよろしくお願いします。ありがとうございます。



金星出版社 デジタルハブチーム キム・ミンヨン氏

■ 金星出版社プロジェクトのおまとめ

プロジェクトの背景	デジタル資産の価値を認識し、より体系的・効率的に管理するためにCMS導入を検討
プロジェクトの目標	整っている資産をより効果的に管理して、新しい価値を創出
IDAS導入の理由	同種の業界において経験保有、製品の優秀性や機能面での類似性、内部要求についての積極的な受容、プロジェクト進行中のみならず終わった後も引き続き細かくサポート対応、などの理由から導入した
IDAS導入後の効果	登録される資産を一目で把握できるということと、テーマ別、教材別で使い分けて、必要な資料を簡単に探すことができる